

政策調整会議の概要

開催日 平成27年2月5日（木）

◎項 目

- 1 高知県の経済概況について【総務部】
- 2 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

◎内 容

1 高知県の経済概況について【総務部】

総務部から、資料に基づき高知県の経済概況について概要説明が行われた。

【主な説明概要】

（総務部）

- ・ 12月の新車の販売台数は6ヶ月ぶりのプラスで2,304台となっている。軽自動車の伸びが、全体のプラスに貢献している。軽自動車については2ヶ月連続のプラス、普通車は6ヶ月連続のマイナスという状況である。
昨年1月～12月の1年間では、消費増税前の駆け込み需要とその反動はあったが、全体では軽自動車の販売が大きく寄与し、1年間では2%のプラスとなっている。
- ・ 12月の新設住宅着工戸数は、持ち家、貸し家、分譲住宅とも減少して、3ヶ月連続のマイナスとなっている。
昨年1年間では、消費増税前の駆け込み需要の反動もあったことから、全体で約25%のマイナスとなっている。
- ・ 12月分の有効求人数は1万2,201人で0.6%の減少となり、3ヶ月連続のマイナスとなっている。新規求人数は3ヶ月ぶりにプラスとなっている。
- ・ 12月の有効求人倍率は0.86倍で0.01ポイント上昇し、昨年7月の過去最高と並んでいる。全国は1.15倍で0.03ポイント上昇という状況である。

3 各部局等の主要な取り組みについて【各部局等】

総務部が取りまとめた各部局等の主要な取り組みに関する資料を配付の上、各部局による概要説明が行われた。

【主な説明概要】

（産業振興推進部）

2月10日から2月12日にかけて第49回のスーパーマーケット・トレードショーが開催される。これは新日本スーパーマーケット協会の開く一大イベントである。今年は地産外商公社、それから農業振興部産地・流通支援課もブースを構え、民間業者合わせて5団体から50社出展するようになっている。バイヤーは3日間で約8万人来られて、全国からは約1,500社が出展をする大きな商談会になっている。昨年度、この商談会で700件、3億7,000万を超える成約に繋げているので、今年度は昨年度の実績以上を目指していきたいと考えている。

(観光振興部)

「高知家の食卓」県民総選挙の投票が、2月16日までとなっている。ちなみに、昨日までの13日間で3,760世帯の投票をいただいている。前は同じ13日間で717だったので、5倍以上になっている。これから追い込みに入ってくるので、職場での投票の呼びかけをよろしくお願ひしたい。

(農業振興部)

2月8日に「新・農業人フェア」が開催される。これは提案型の新規就農者の確保ということで今回初めて取り組むもので、専業農家を目指す方に対して11の提案を行う予定である。JAなどが求める人材、就農支援や各種支援の内容、経営モデルなどを記載したペーパーを用意して、窓口を訪れた方に説明しながら勧誘をしていく予定となっている。

(副知事)

平成27年度予算が出来上がったが、これから2月17日の記者発表に向けての資料整理や、来年度に向けてのさまざまな本部会議が開催されることとなる。また、2月議会も控えているので、引続き頑張っただきたい。